

移動式木製音響反射板

The Sound of the Concert Hall

Otonohako Sound Product

取扱い・組立説明書

この度は、移動式音響反射板 OTHC シリーズをお買いあげ下さいまして、誠にありがとうございました。

- ご使用の前に、本説明書を必ずお読みの上、正しく安全にお使い下さい。
- 製品を第三者に貸与、譲渡する場合には、この説明書を必ず添付し、取扱い方法を十分にご説明下さいます様お願い申し上げます。
- 本説明書は大切に保管し、必要な際には必ずお読み下さい。

付属品 ボルトは台数分、スパナは1オーダーに対して1本

ボルトA 6本
4×40mm



ボルトB 2本
6×20mm



スパナ 1本



呼び 13
トルクヒンジ調整用
4 ページ 「6. トルクヒンジ」を参照
呼び 14
キャスターナット増締め用
3 ページ 「◎始めに」を参照

移動式木製音響反射板 OTHC シリーズ

特徴

1 音の響きと反射を最重視した専用設計木製パネル使用

本体パネルに 21mm 厚【南洋桐材を使用】（上部パネルは押出発泡ポリスチレン製）

2 移動に最大限考慮した軽量コンパクトサイズ

スタッフ・職員さんに優しい【総重量約 25kg】

3 上部パネルはどの位置でも止まるフリーストップ式（180°以内）

業界初採用のトルクヒンジを採用した【角度無段階調整式】

4 時代に即した抗ウイルス及び抗菌仕様製品をラインアップ

【SIAA 基準適合材】をパネル全表面に採用



組立説明をYouTube動画で！

※ユーザー様限定URL

<https://www.youtube.com/watch?v=eIKiaBPUMPU>



Made in Japan

1.安全上の注意

ここに書かれた注意事項は、ご使用にあたり、ご利用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものです。

いずれも、安全にお使いいただくための重要な内容ですので、必ずお守り下さいますようお願い申し上げます。



警告

取扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

- 必ず平らで丈夫な床面に設置して下さい。
不安定な場所での設置は倒れて怪我をする恐れがあります。
- 必ず室内でご使用下さい。
屋外での使用は風などでの転倒等、危険が伴います。
- 可動部分に手指を挟まないように十分注意して下さい。
怪我をする恐れがあります。
- 反射板にものをかけたり、立てかけないで下さい。
それらが原因で倒れる可能性があります。
- キャスター脚に乗らないで下さい。
怪我や製品故障の原因となります。
- 移動時はキャスターロックを必ずはずして下さい。
ロックしたままの移動は転倒の危険性があります。
- 移動時は必ず2名ひと組みで行って下さい。
人、障害物、壁、天井等の確認を怠らないようお願いします。

- 上パネル操作時は必ず2名で行って下さい。
本体パネルを支えたまま上パネルを開閉して下さい。
- 上パネルは180度以上は開かないで下さい。
無理に開こうとすると転倒、破損の可能性があります。
- 使用時は必ずキャスターのストッパーをロックして下さい。
思わぬ移動で危険にさらされる場合があります。
- 使用の際、保管の際含め、人の歩行、移動等で脚部分にぶつからないよう、十分な周知をお願いします。
- 地震の際は近づかないで下さい。
移動、転倒の恐れがあります。



注意

取扱いを誤ると、軽症を負うか物的損害が発生する可能性があります。

- 可動金具(トルクヒンジ)の安全作動温度は40℃です。
40℃を超える環境での使用はさけて下さい。
- 可動金具(トルクヒンジ)に潤滑油などを付けないで下さい。
トルクの変動で上パネルが止まらなくなる可能性があります。

2.末永くご使用いただくためのお願い

- 「注意」欄でも記しましたが、可動金具(トルクヒンジ)に潤滑油を付けないで下さい。
トルクの変動で上パネルが止まらなくなる可能性があります。
- 普段のお手入れは乾拭きをお勧めします。
汚れ等の付着には固く絞ったタオル等で対処して下さい。

- 本体パネルは天然木材を使用しているため、保管時を含め極端に温度、湿度の変化がある環境、屋外での使用では反りの原因になりますのでお避け下さい。
- 定期的にボルト、キャスターナットのゆるみがないかを確認し、適時増締めを行って下さい。

3.組立の説明 ボルト取付け用にプラスドライバーをご用意下さい

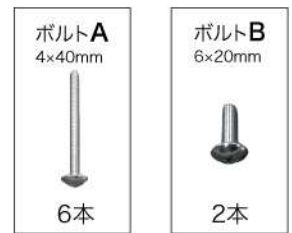
⚠ 重要

組立の際は、最初に寝かせて作業をします。事前に十分な場所の確保、作業を行う最低2名の確保をお願い致します。組立者様、周囲の方々の安全確保、製品、周りの物品損傷に対する気配りに格別なご配慮の程、何卒お願い申し上げます。

◎ 始めに

出荷時に支柱にキャスターが取付けてありますが、念のため事前にナットのゆるみがないかを確認して下さい。万が一ゆるみがありましたら、付属の呼び14スパナで増締めを行って下さい。なお、以下作業を含めて「図A」を参考にいただき、「上パネル」を少し開いて、横に寝かせた状態で作業を進めて下さい。

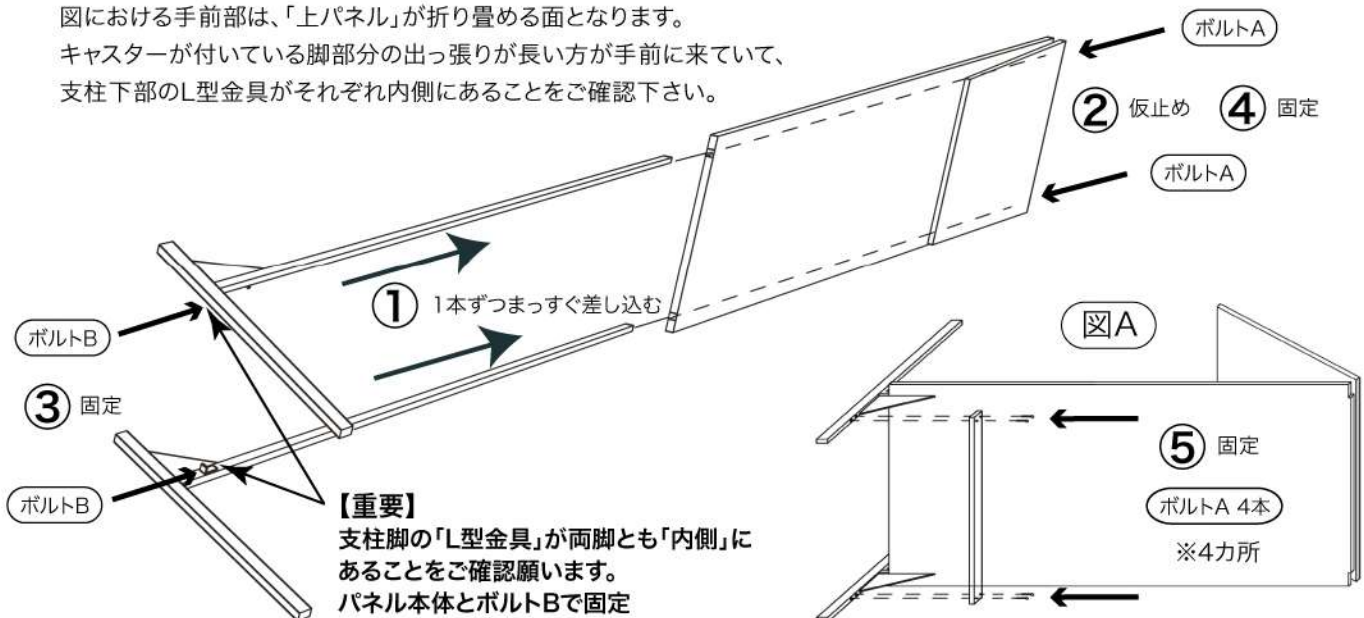
付属ボルト内容



ボルト取付は
プラスドライバー
を使用して下さい

① パネル本体下部より2本の支柱脚を挿入(以下、横面を下に立たせた状態)

パネル下方より、キャスター付き支柱脚を「ゆっくりと」「まっすぐに」差し込んで下さい。
※支柱脚は金属製ですので、挿入時にパネルを傷つけないよう慎重に行ってください。
図における手前部は、「上パネル」が折り畳める面となります。
キャスターが付いている脚部分の出っ張りが長い方が手前に来ていて、支柱下部のL型金具がそれぞれ内側にあることをご確認ください。



② パネル本体上部と支柱脚を「仮止め」2カ所

差し込んだ支柱脚を「ボルトA」でパネル上部より軽く「仮止め」して下さい。

③ パネル本体下部と支柱脚のL型金具を固定 2カ所

差し込んだ支柱脚L型金具を「ボルトB」でパネル下部を固定して下さい。

④ 仮止めしたパネル本体上部ボルトの固定

②で仮止めしたボルト2本を固定して下さい。

⑤ 補強棧の取り付け及び固定

裏面にまわり、2本の支柱脚を補強棧でつなぎ、4本の「ボルトA」で固定して下さい。

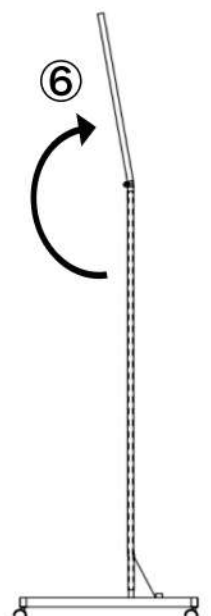
⑥ ボルトの取付が全て終了後、脚部を支点としながら起こす

使用場所まで移動し、「上パネル部」を開き、全てのキャスターのストッパーをロックして使用して下さい。

※開閉時、指を挟まないようくれぐれもご注意ください。

※保管時は上パネルをおろし、畳んだ状態で必ずストッパーをして下さい。

※上記組立方法以外で生じた不具合は責任を追いかねますのでご了承下さい。



4.仕様

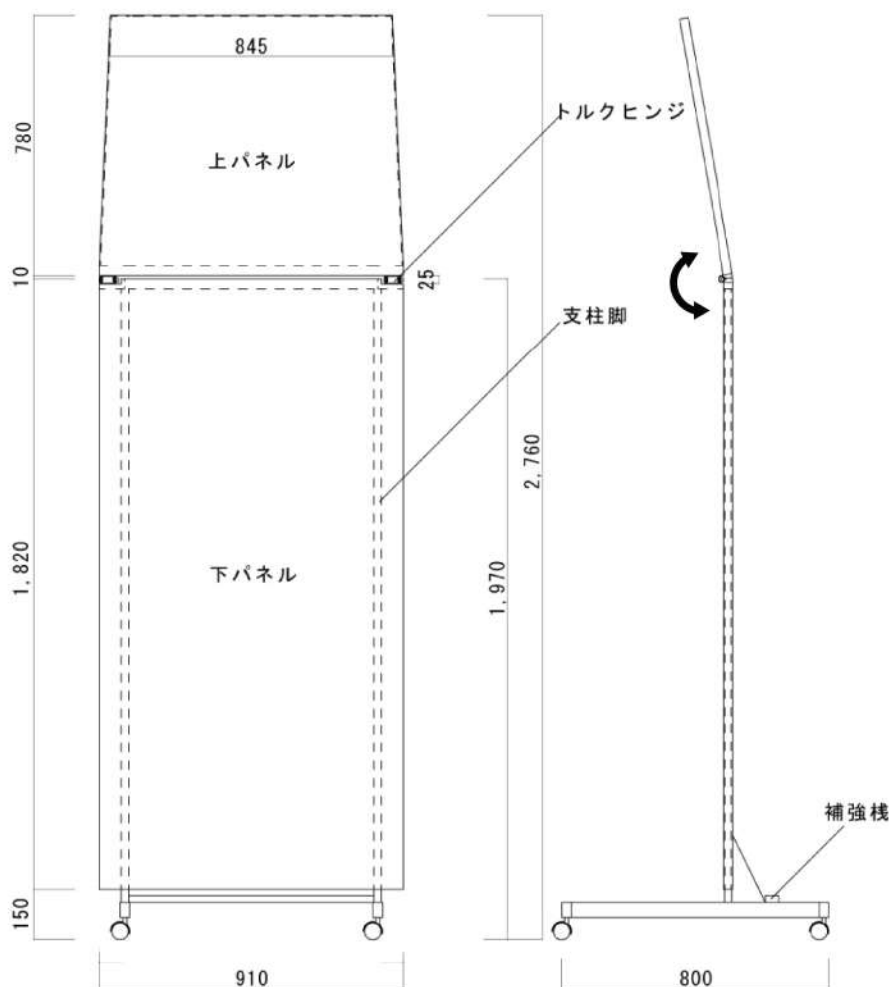
- ・パネル本体 南洋桐材 (21mm)
- (下パネル) 表面メラミン化粧板仕上げ
- ・パネル上部 押出発泡ポリスチレン
- (上パネル) 表面ポリエステル化粧板仕上げ
- ・カラー 標準はオフホワイト系

※品番により抗ウイルス&抗菌仕様、抗菌仕様がございます。

※カラーオーダーに関しましては抗菌仕様のみとなります。

- ・上部開閉機構 トルクヒンジを使用した無段階調整
- ・脚・支柱 スチール 溶接焼付け塗装
- ・キャスター ストッパー付き 合計耐荷重：120kg
- ・寸法 (mm) W910×H2,760 (最大)×D800
- W910×H2,380 (最大)×D600 (OTHC-500S のみ)
- ・重量 約 25kg

5.寸法 (OTHC-500A、OTHC-510、OTHC-500)



6.トルクヒンジ



上パネルは OTHC を特徴付ける「フリーストップ」となる構造で、トルクヒンジを採用。納品時のトルクは、最適値に調整してありますが、上パネル角を 90 度を開いたときに静止しない状態になった場合は上部図「調整」を参考に、時計回り方向にナットを回すとトルクが増しますので、開閉具合を調整して下さい。
※この部品への注油は絶対にしないで下さい。
※安全作動温度は 0 度～40 度です。
※調整は付属のスパナ呼び 13 側を使用。

【重要】

少しずつ行うのがコツで、締め過ぎは部材への負荷、破損につながりますので十分ご注意願います。



仕様・意匠は製品改良のため予告無く変更する場合があります。

企画・販売元 株式会社 浅間家具店 オトノハコ事業部
Asama Furniture Store Co., Ltd. Otonohako Division

〒955-0861 新潟県三条市北新保2-4-1 登録番号:T5110001013844
☎ 070-6555-2910 Mail : info@otonohako.co.jp Fax : 050-3737-1847

Otonohako
Sound of Experience

